

g2021(令和3) 年 1 月 29日

2020 年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 昭島環境フォーラム

代表者・役職名 氏名 代表 長谷川博之

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

第5回 多摩川流域市民学会の開催・実施

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2001年に、昭島市において環境基本計画を実行するために発足。これまで、昭島市を中心とした東京・多摩地域で、環境保全活動を展開してきました。昭島環境マップ VOL1～4を発刊したり、多摩川流域市民学会第1回～第4回を実施してきました。会員数は現在10名。今後、多摩川流域の水田の実態を調査したり、地域で、生物多様性地域戦略の市民版を策定しようとしています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当学会は、過去15年余り、4回にわたって、場所やテーマを変えながら、多摩川に関する総合的な課題に関して、行政界や専門分野を超えた立場で、国や市民、自治体や専門家が相互に連携して、研究発表や情報提供、意見交換を行ってきました。近年は、地球温暖化による台風・豪雨災害や外来種による生態系の攪乱が拡大しており、この学会に代わる組織や活動がない中で、今後、市民科学の立場から、新たな時代にふさわしい、多摩川の治水や利水、環境保全のあり方を考える場と機会、スキルを提供したい。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当初は昨年8月30日(日)、延期後は今年1月11日(月・際)に、当学会を開催予定でしたが、コロナ禍で、再延期になりました。開催直前までできていただけに、準備のほとんどは終わっており、後は開催するばかりでした。今回の学会は、「流域」をテーマにし、午前中のプレイベント(「府中用水を歩こう」)に始まり、午後の学会発表に向けて、専門家による基調講演、市民による一般発表、京浜河川事務による特別講演が予定されていました。今後の開催時期の見通しは立っていませんが、同じ内容で、然るべき時期に開催する考えです。前回の学会の報告書と、今回の学会用のレジメ集はできていますので、同封します。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

学会自体が開催できていませんので、「結果」や「成果」、「社会的な変化」や「効果」については、現時点では、言及できません。が、参加申し込みをされた方々に、今後に関するアンケートも取りましたが、開催に対する期待感は大きく、主催者としても、その期待に応えたいと考えています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

学会をオンラインで開催することも考えましたが、それに対応出来ない方も少なからずいらっしゃることもわかり、やはり、プレイベント(フィールドワーク)も含め、再度、現地の府中で、開催する予定です。コロナ禍がいつ収束するかが、最大の課題であり、粘り強く、待ちたいと思います。その際には、オンラインの同時活用も視野に入れたいと思います。来年度も引き続き、開催に向けての助成申請を予定していますので、よろしくお願ひいたします。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

* 前回第4回学会の報告書

* 今回学会のレジメ集、

* 準備に関わる実行委員会の活動写真

(プレイベントの下見、学会会場の下見、レジメ集の印刷・製本風景)

* 学会ポスター(プレイベントも含む)

* 朝日新聞による告知記事

第5回 多摩川流域市民学会 流域から多摩川を考えよう

2021年 1月11日(月・祝日)

13~17時(開場12時) マスク着用をお願いします

府中市郷土の森博物館会議室

東京都府中市南町6-32

(武蔵野線・南武線、府中本町駅から徒歩20分、京王線・南武線、分倍河原駅より徒歩20分)



基調講演

多摩川流域の自然-その特色と課題-

小泉武栄(東京学芸大名誉教授)

資料代

1,000円

+博物館入館料

300円

(入館料を払ってから
会場にお越し下さい)

一般発表

1

多摩川における放射能汚染の記録

中西四七生・吉澤省吾 (たまあじさいの会)

一般発表

2

多摩川流域の水田と用水路の実態

長谷川博之 (昭島環境フォーラム)

一般発表

3

消えゆく東京の両生類

福山欣司 (慶應大学教授) 紙面発表

一般発表

4

洪水後の河川敷の植生回復~植物はどこからやってくるのか?

吉川正人 (東京農工大学大学院農学研究院准教授)

一般発表

5

多摩川におけるマイクロプラスティックの問題

伊藤教行 (NPO法人R.I.La)

特別発表

多摩川緊急治水対策プロジェクトについて(仮題)

国土交通省京浜河川事務所 副所長 太田敏之

プレワーク ショップ

府中郷土の森博物館周辺の府中用水と水田を歩く 9:30西府駅集合

10から12時 (※別紙を参照の上、別途申込み下さい)

このイベントは、真如苑の2020年度多摩地域市民活動公募助成を受けて実施します。

問合せ・申込

学会事務局 長谷川博之

Email hasegawa.kawasemi@gmail.com

参加をご希望の方は上記宛にお申込みください。先着50名です。

①お名前、②住所、③年齢、④緊急連絡先 (Emailか携帯番号)、⑤プレワークショップ参加の有無

写真資料（当学会実行委員会の活動の様子に関するもの）

1) プレイイベント（「府中用水を歩こう」）の下見（2020年7月18日）



2) 学会会場の下見（2020年7月18日）



3) 学会レジメ集の印刷と製本（2020年12月13日）